



## 学校評議員会の開催 — 学校評価と次年度に向けて —

3月1日(火)に学校評議員会を開催しました。本校の評議員は、学校関係者と地区在住者の4名で構成されています。年間通して学校の教育活動に接していただいています。評議員会では、学校教育活動や学校評価をもとにご意見を伺っています。以下は学校評価です。

### 1 評価概要

(1) 評価形式：無記名 各項目4段階評価

4 とてもそう思う 3 少しそう思う 2 あまりそう思わない 1 全くそう思わない

※ 平均評価から傾向を考察

(2) 評価者：4~6年児童、保護者(PTA役員)、教職員

(3) 評価時期：平成28年1月

### 2 評価結果

#### (1) 学校生活・家庭との連携・授業

##### 【学校生活】

		H27	H26
児童	学校生活は楽しいと思いますか。	3.48	3.39
保護者	お子さんは、学校生活を楽しくしていると思いますか。	3.70	3.80
教職員	あなたは、児童が楽しい学校生活を送れるように教育活動を実践しましたか。	3.50	3.46

##### 【家庭への連絡】

児童	先生達は、家への連絡やお知らせをきちんとしていてくれると思いますか。	3.54	3.57
保護者	教師は、家庭への連絡や情報提供を積極的に行っていると思いますか。	3.39	3.31
教職員	あなたは、家庭への連絡や情報提供を積極的に行っていますか。	3.40	3.31

##### 【わかりやすい授業】

児童	先生は、わかりやすい授業をするように努力していると思いますか。	3.61	3.61
教職員	あなたは、わかりやすい授業の実践に努めていますか。	3.35	3.31

##### 【授業の工夫①】

児童	先生は、あなたが授業に集中できるような工夫をしていると思いますか。	3.38	3.23
教職員	あなたは、児童が授業に集中できるような工夫をしていると思いますか。	3.35	3.31

##### 【授業の工夫②】

児童	先生は、あなたの思いや考えをどんどん発表したくなる工夫をしていると思いますか。	3.14	3.09
教職員	あなたは、児童が思いや考えを意欲的に発表する工夫をしていますか。	3.25	2.96

- 学校生活については、児童・保護者・教職員の三者とも、「とてもそう思う」回答が多く、楽しい学校生活を送れていると、高く評価されています。
- 教師のわかりやすい授業に対する取り組みは、児童からは高く評価されています。
- 話し合い活動に力を入れてシンキングツール等を積極的に取り入れながら授業を工夫してきましたが、十分な手応えを感じるにはもう少し時間がかかりそうです。



【わかる授業づくり】

〈今後の取り組み〉

- ・ 「思考の見える化」を工夫し、話し合い活動の実践に継続して取り組み、学び合い、高め合いの場を広げていきます。
- ・ ICTを積極的に取り入れたり、自分の考えの表現方法を工夫したりするなど授業改善に努めます。

#### (2) 生活指導・人権教育・学校環境

##### 【生活指導・生徒指導①】

		H27	H26
児童	あなたは、元気よくあいさつをしていると思いますか。	3.17	3.17
保護者	お子さんは、元気よくあいさつをしていると思いますか。	3.20	3.09
教職員	あなたは、児童が積極的にあいさつするような指導に取り組んできましたか。	3.30	3.27

##### 【生活指導・生徒指導②】

児童	先生は、いじめのない楽しい学級づくりに、つとめていると思いますか。	3.60	3.52
保護者	教師は、いじめのない楽しい学級づくりに努めていると思いますか。	3.39	3.56
教職員	あなたは、いじめのない楽しい学級づくりに努めていますか。	3.65	3.54

【人権教育①】

児童	あなたは、クラスの人や友だちの気持ちを大切に生活していると思いますか。	3.58	3.47
保護者	お子さんは、クラスの人や友達を大切に生活していると思いますか。	3.55	3.60
教職員	あなたは、学級の人や友達を大切に生活するような児童の育成に努めましたか。	3.55	3.62

【人権教育②】

児童	あなたは、言葉づかいに気をつけて生活していると思いますか。	3.17	2.98
保護者	お子さんは、言葉遣いに気をつけて生活していると思いますか。	2.75	2.80
教職員	あなたは、児童が言葉遣いに気をつけて生活するような児童の育成に努めましたか。	3.20	3.27

【学校環境】

児童	あなたは、そうじの時間がんばってそうじしていますか。	3.52	3.35
教職員	あなたは、子どもとともにより美しい学校にすることに積極的にとりくんでいますか。	3.55	3.38

- あいさつについて、会釈をしながら挨拶できる児童が少しずつ増えてきました。
- いじめのない学級づくりについては、児童の意識、保護者の見方、教師の指導とも高い評価になっています。人権教育の取り組みが着実に積み重ねられていることであると思われます。
- 正しい言葉遣いをしましよと指導していますが、学校生活から離れたときの言葉遣いについて、保護者と児童とは意識の違いがはっきりしているようです。  
(今後の取り組み)
  - ・ 時と場に応じた言葉の使い分けを指導していきます。
  - ・ コミュニケーションスキルを高めるために、アサーショントレーニングやハッピートークトレーニングの実践をさらに充実させていきます。また、価値観に関する話し合い活動を取り入れ、互いの考えを認めていく活動を重視していきます。
  - ・ ペア学年での取り組みを充実させ、人とかかわる場面を増やしていきます。
  - ・ 「環境が人をつくる」と言われるように教職員・児童の協働により美しい学校環境づくりに努めます。また、校内掲示を一層工夫し、児童の活動意欲向上につなげていきます。

(3) ESDについての意識調査【平成 28 年 2 月】

	数値は「思う」と答えた6年児童 (%)	H27	H26
甚目寺をすばらしい町、よい町だと思いますか。		66.4	70.3
甚目寺を自分の「ふるさと」として、大切にしたいと思いますか。		74.8	74.6
甚目寺の現在や未来のために、何か考えたり行動したりしたいと思いますか。		39.6	42.8

- 「ふるさと学習」の取り組みを全学年で体系化し、道徳での先人や地域の人々の思いについて考える機会との連携を図ったことにより、地域を大切にしたいという思いは高い水準にあります。
- 充実した活動のためには、準備や指導のための時間の確保が課題となっています。  
(今後の取り組み)  
各領域とのバランスを考慮しつつ、総合学習年間指導計画の見直し・改善を行い、効率のよい取り組みを模索していきます。



【甚目寺観音づくり朝市に参加】

(4) 校内研究

「よくできた」「できた」という回答		
H27 教職員	ESDと道徳の連携	3.29
	高め合いの指導力向上	3.12
	校内研修	3.18



【総合学習発表会】

- ESDと道徳との連携を図り、行動面と情意面の両面の向上を目指しました。外部講師による批判的思考の研修は有意義であったようです。
- 年間通した授業研究(算数・道徳・総合学習)の取り組みや「聞く」→「話す」→「話し合う」活動の充実については、おおむねよい評価となっています。  
(今後の取り組み)

- ・ 総合学習と道徳の効果的な連携について、実践の積み上げをはかります。
- ・ 「高め合い」の定義づけとともに、具体的な授業展開パターンの確立に取り組みます。

3 学校評議員会の会議録より (※ 学校評価を示し意見交換 平成 28 年 3 月 1 日開催)

- ・ ふるさと学習は、「国際社会の中のふるさと」という捉えですすめていけるとよい。
- ・ 地域について学ぶ中で、地域の企業の良さを行政にも児童の言葉で発信できるとよい。
- ・ 児童の心の内について、気軽に話すことが苦手な子への配慮をしながら、うまく聞き出す努力を重ねていただきたい。
- ・ 生徒指導上の問題には、学校全体での対応を基本に今後もがんばっていただきたい。

